

第6章 公害苦情

1 公害苦情の状況

令和3年度は表6-1のとおり181件の公害苦情があったが、その主なものは野焼き行為などによる大気汚染、近隣からの騒音及び悪臭などである。

典型7公害以外の苦情は101件あり、廃棄物の不法投棄が大半を占めている。

苦情件数の推移は、図6-1のとおりである。

(表6-1) 公害苦情件数推移

	苦情の概要	年度別苦情件数				
		29	30	元	2	3
大気汚染	・ごみや草木等を焼却している ・煙で息苦しく、臭いが洗濯物に付着する	26	18	30	47	62
水質汚濁		0	2	1	0	0
騒音	・長時間の重機使用の作業音がうるさい ・道具・機械整備時の金属加工音がうるさい	4	7	4	7	9
振動	・コンクリート解体作業に伴う振動	0	0	0	0	1
悪臭	・牛糞堆肥の臭い ・これまで嗅いだことのない様な臭いがする	5	9	10	6	9
地盤沈下 地下水位		0	0	0	0	0
土壌汚染		2	3	1	0	0
その他	・一般廃棄物や産業廃棄物の不法投棄 ・自転車が放置されている	113	100	103	107	101
合計		150	139	149	167	181

備考 その他の苦情には、平成23年度から、数個の家電製品の投棄、放置自転車を廃棄物の不法投棄としてカウントしている。

